

平成 28 年 8 月 10 日
宮 崎 県
都 城 市
西日本高速道路株式会社

報道関係各位

宮崎自動車道『山之口スマートインターチェンジ』が

平成 28 年 9 月 24 日(土)に開通します。

～宮崎県内初のスマートインターチェンジ～

都城市・宮崎県及びNEXCO西日本九州支社が建設を進めてまいりました、宮崎自動車道『山之口スマートインターチェンジ(IC)』が開通します。

1. 開通日時

平成 28 年 9 月 24 日(土) 15:00

2. 山之口スマートICの概要

設置場所:[上り]宮崎県都城市山之口町山之口及び花木(宮崎自動車道 都城IC～田野IC間 山之口SA)

[下り]宮崎県都城市山之口町山之口 (宮崎自動車道 都城IC～田野IC間 山之口SA)

※スマートICへのアクセス道路:[上り]市道山之口SA南通線

[下り]市道山之口SA北通線

※都城IC～田野IC間は 21.1 kmとなっていたが、山之口スマートICの開通により、都城IC～山之口スマートIC間が 5.0 km、山之口スマートIC～田野IC間が 16.1 kmと、高速道路が使いやすくなります。

事業主体:都城市・宮崎県及びNEXCO西日本

総事業費:約 15 億円

利用時間:24 時間利用可能

出入方向:全方向利用可能

対象車種:ETC搭載の全車種

3. 事業の経緯

平成 24 年 12 月 5 日	山之ロサービスエリアスマートIC地区協議会設立
平成 25 年 3 月 19 日	山之ロサービスエリアスマートIC地区協議会から日本高速道路保有・債務返済機構及び西日本高速道路株式会社に対して実施計画書の提出
平成 25 年 5 月 17 日	都城市長から国土交通大臣に対して連結を申請
平成 25 年 6 月 11 日	国土交通大臣から都城市長に対し連結を許可
平成 25 年 7 月 12 日	工事着手
平成 27 年 11 月 18 日	名称が山之ロススマートインターチェンジに決定

4. 期待される整備効果

期待される整備効果については、別紙のとおりです。

5. 利用上の注意点

- ・山之ロススマートICは、ETC専用です。必ずETCカードを車載器に挿入して通行してください。
- ・山之ロススマートICでは、車両が停止した状態でなければ開閉バーが開きません。ETCゲートの前で必ず「一旦停止」し、バーが開いてから通行してください。
- ・山之ロススマートICは、ETC車載器を搭載していない車両が、誤ってスマートICに進入した場合は、バックをせず戻ることができるようになっており、より安全にご利用いただけます。
- ・山之ロススマートICは、近接する都城料金所にて管理しており、係員は常駐しておりません。ご利用の際、ご不明な点がございましたら、インターホン等をご利用の上、お申し出ください。係員にてご案内させていただきます。

6. 通行料金

山之ロススマートIC⇄各IC間の主な区間の料金

(距離:km、料金:円)

料金所名	距離	軽自動車等	普通車	中型車	大型車	特大車
福岡	259.9	4,770	5,930	7,080	9,670	16,000
太宰府	248.2	4,600	5,710	6,820	9,310	15,400
熊本	157.0	3,200	3,950	4,710	6,420	10,500
鹿児島本線	117.3	2,600	3,210	3,820	5,190	8,540
宮崎	28.6	770	920	1,070	1,420	2,250
清武	24.6	680	820	950	1,240	1,960
宮崎西	32.5	850	1,030	1,200	1,590	2,540
門川本線	111.9	2,680	3,240	3,810	5,230	8,850
佐賀大和	258.8	4,760	5,900	7,050	9,640	15,900
長崎	352.4	6,150	7,650	9,140	12,500	20,700
大分	358.9	6,250	7,770	9,290	12,700	21,000

この件に関するお問い合わせは、

(都城市)

都城市総合政策部総合政策課 くまもと にしかわ
隈元、西川 TEL:0986-23-2115

(宮崎県)

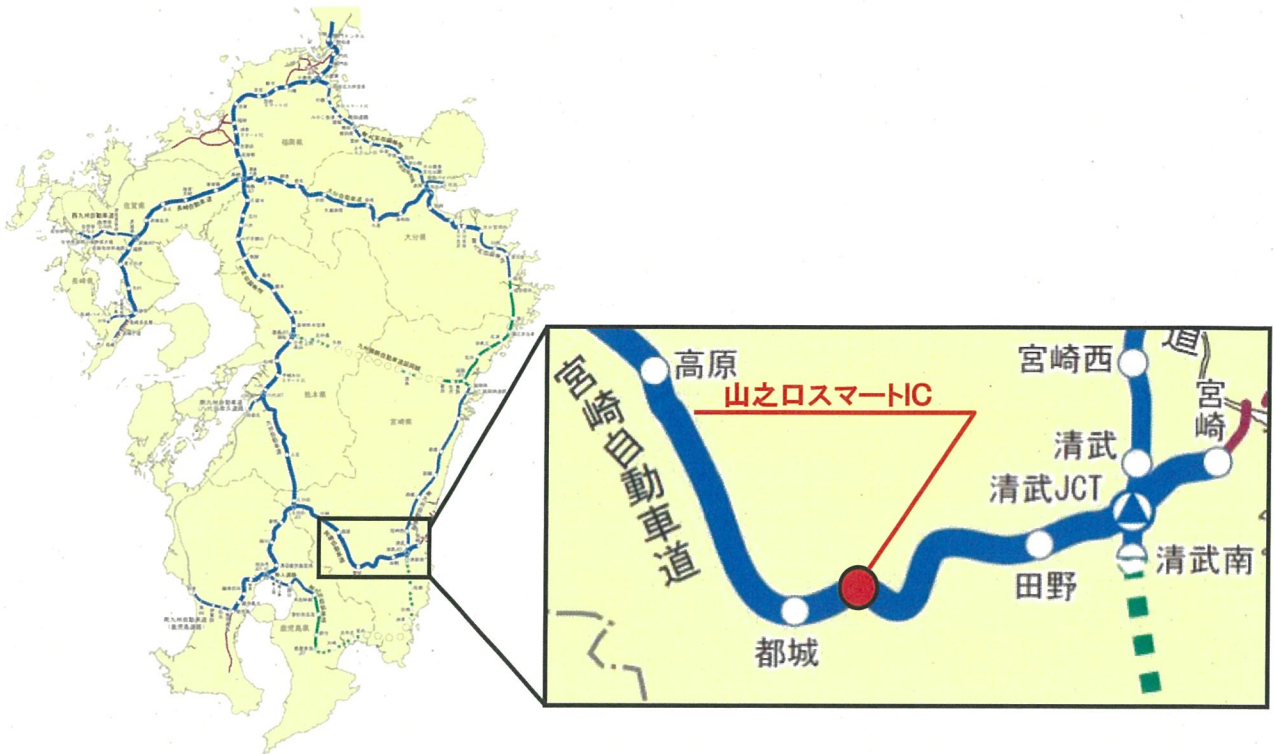
宮崎県県土整備部道路建設課 いまむら なかたけ
今村、中武 TEL:0985-26-7180

(NEXCO西日本)

NEXCO西日本 九州支社 広報課 にしわき なかむら
西脇、中村 TEL:092-260-6100(マスコミ専用)

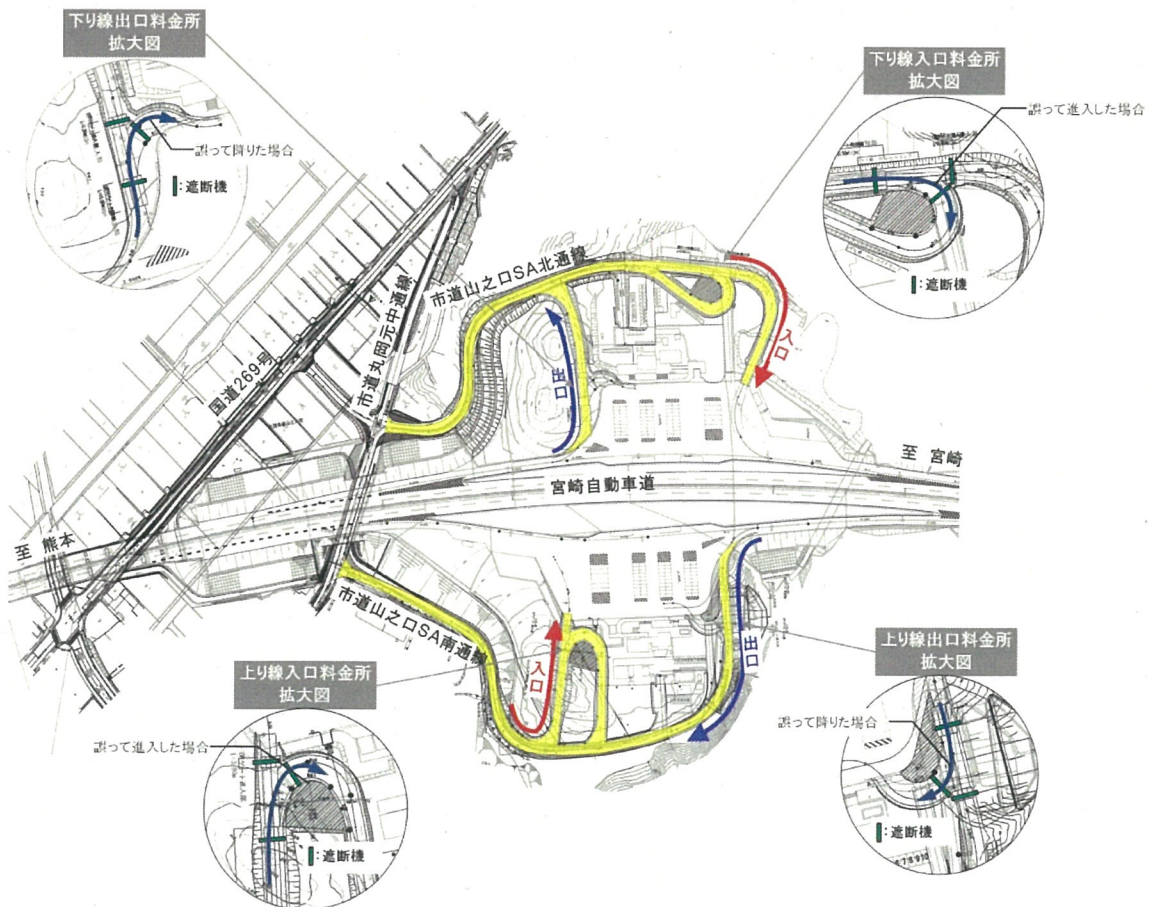
※本資料は、国土交通省九州記者会、九州建設専門記者クラブ、宮崎県政記者クラブ、都城市政記者クラブにお配りしております。

位置図

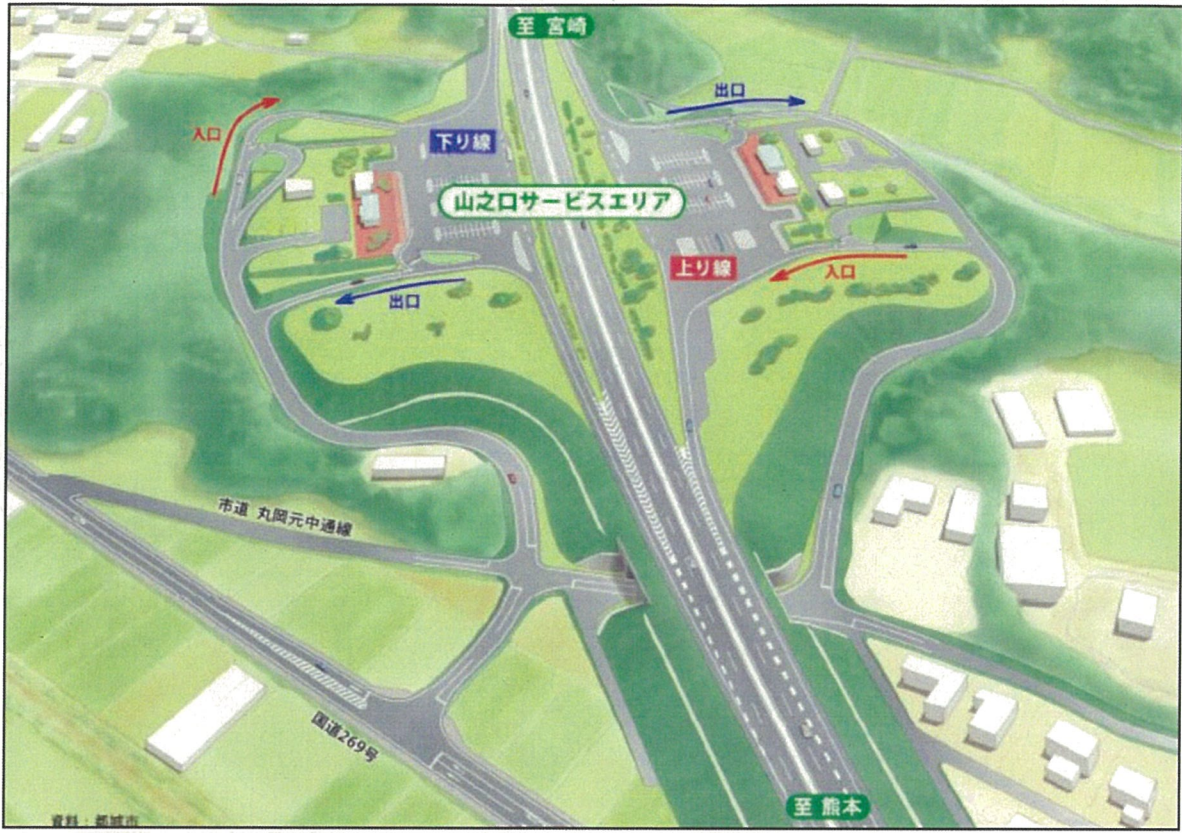


平成 28 年 4 月末現在

平面図



完成予想図



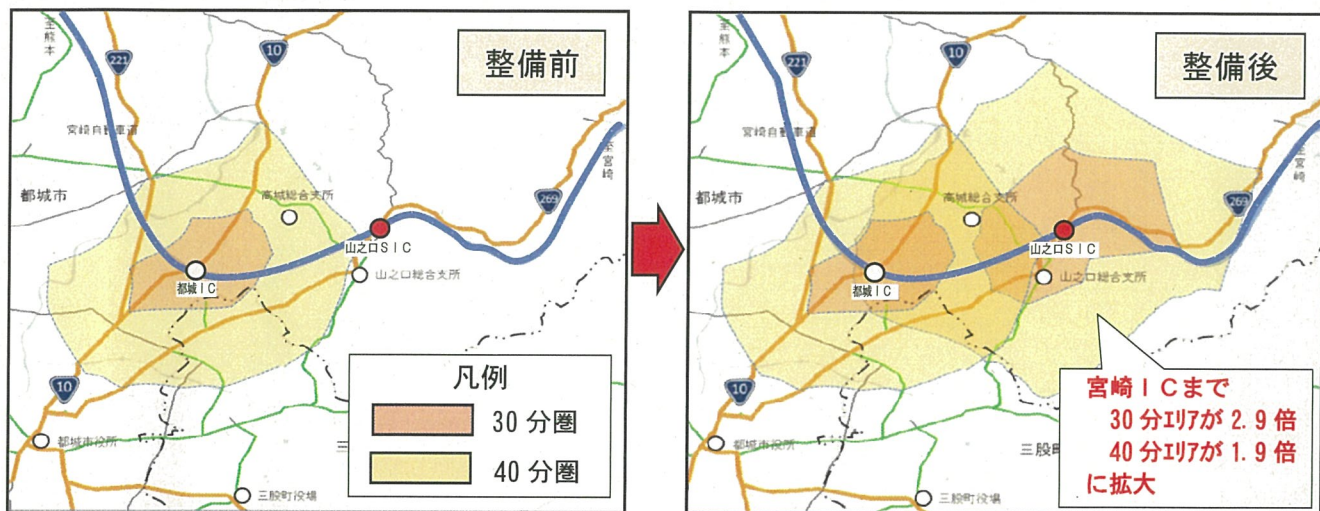
期待される整備効果

●住民生活の利便性の向上

高速道路へのアクセスが向上し、生活利便性の向上に寄与します。

○宮崎ICから30分エリアが約3倍、40分エリアが約2倍に拡大

▼宮崎ICまでの通勤圏の拡大（30分圏・40分圏）

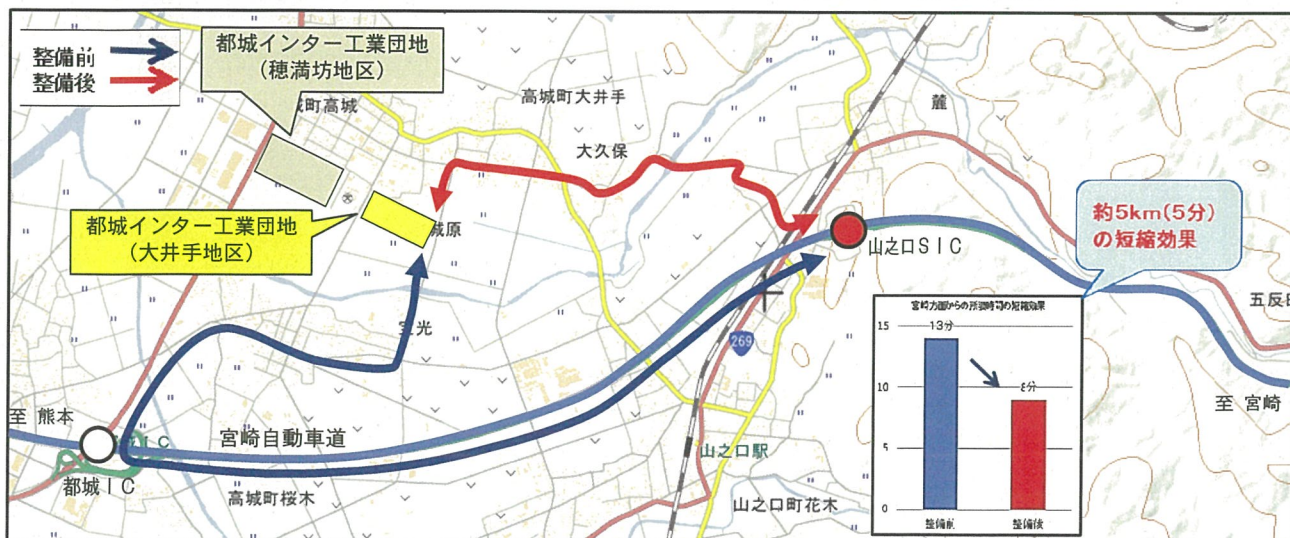


●「経済の道」としての効果

物流の効率化・高速化が図られることにより、輸送コストの圧縮、企業誘致、雇用の創出、6次産業化の推進等が期待されます。

○宮崎方面から都城インター工業団地（大井手地区）までの所要時間が約5分短縮

▼都城インター工業団地大井手地区までのアクセスの変化と時間短縮効果

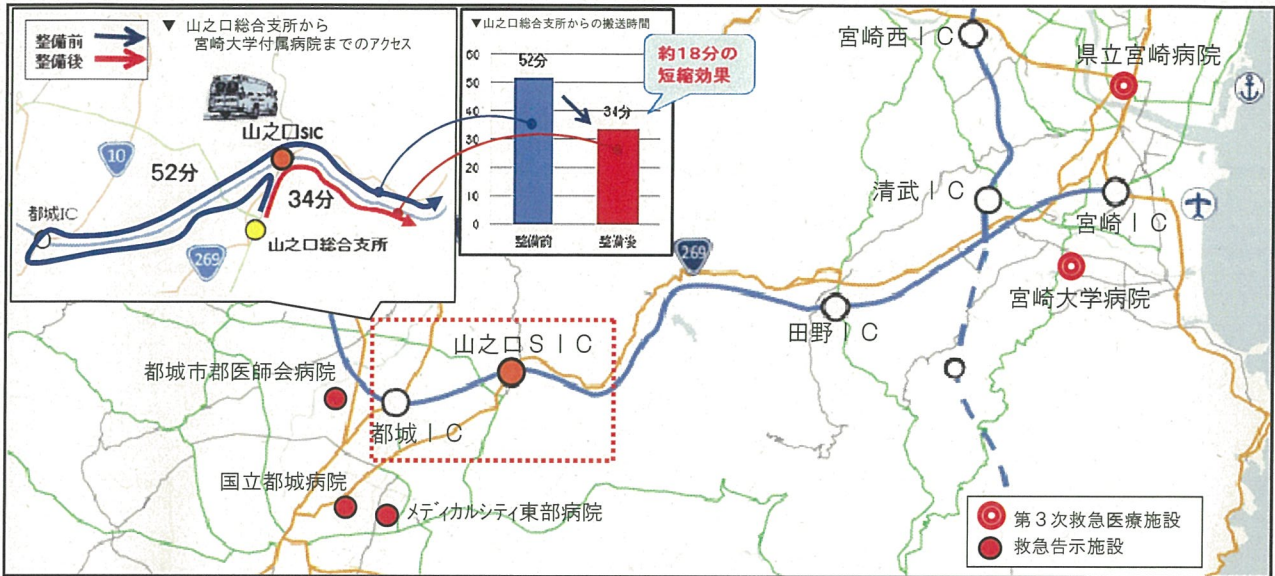


● 「医療の道」としての効果

第3次救急医療施設への搬送時間が大幅に短縮されることにより、対象エリアで重篤事故が起こった場合、救命率の大幅な向上が期待できます。

○山之口総合支所から、宮崎大学病院までの搬送時間が約18分短縮

▼ 都城市の主な救急告示病院と第3次救急医療施設



● 「防災の道」としての効果

将来発生が予想される南海トラフ大地震等の広域災害により県都機能がダメージを受けた場合、県内第2の都市としてそのバックアップ機能を果たすための最重要・最短ルートを形成します。

▼ 南海トラフ大地震時の県都機能バックアップ

